



うちエコ診断 活用事例集

2023年3月

家庭エコ診断制度運営事務局
(一般社団法人地球温暖化防止全国ネット)

1. はじめに

うちエコ診断実施機関やうちエコ診断 WEB サービス利用団体は、様々なイベントやキャンペーンを実施してうちエコ診断を推進しています。

本事例集では、うちエコ診断を活用したイベントやキャンペーンを実施している団体のうち、「他者との連携」「ターゲットの選定」「自社の環境問題・社会貢献への取り組み」の面で、特徴的な事例を実施した5団体について紹介します。本事例集が参考となり、家庭エコ診断制度の更なる推進につながれば幸いです。

<目次>

1. はじめに	1
2. うちエコ診断を活用した事例	2
大学生や自治体と連携した市民への普及啓発	2
公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク (MELON)	
自治体職員と連携した市民への普及啓発.....	4
公益財団法人 淡海環境保全財団	
従来とは異なるターゲット層へのアプローチ	5
株式会社 ピーアールセンター	
中学生、高校生への家庭の省エネ・節電の普及啓発	6
大阪府堺市	
組合員家庭における省エネルギー化の推進	7
パルシステム生活協同組合連合会	
(参考) うちエコ診断活用事例調査について	9

2. うちエコ診断を活用した事例

大学生や自治体と連携した市民への普及啓発

実施団体：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク（MELON）

■ 事例紹介①

名称	SDGs マルシェ
概要	SDGs マルシェは、SDGs への関心や認識の度合いに関係なく皆が集まる場です。出展者は、より幅広く多くの人たちに向けて、自分達の取組に関する広報や紹介を行います。 (公式サイト) https://www.shokei.jp/sdgs/marche/
実施体制	主催者：尚 綱 学院大学 ^{しょうけい} 協力：公益財団法人 みやぎ・環境とくらし・ネットワーク



図 イベントの様子¹

■ 事例実施にあたってのポイント

「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」との連携

- ✓ 主催者である尚綱学院大学は、「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」に参加しています。
- ✓ 診断実施機関の理事長や職員が尚綱学院大学の関係者ということもあり、大学側からお誘いがありました。
- ✓ 省エネの観点から SDGs を学べる機会を提供することで、多角的な普及啓発を実施することができました。

<カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリションとは>²

文部科学省、経済産業省および環境省による先導のもと、カーボン・ニュートラルに向けた積極的な取組を行っている、または取組の強化を検討する大学等による情報共有や発信等の場です。

参加機関一覧はコチラ <https://uccn2050.jp/organization/>

■ 事例紹介②

名称	eco チャレンジみやぎ
概要	宮城県が実施する地球温暖化対策への理解と関心を高め、行動してもらうためのスマートフォンアプリを用いたキャンペーンです。地球温暖化対策につながる「エコアクション」（アクションメニュー）に応じたポイントが貯まり、素敵な景品が当たる抽選を行うことができます。 （公式サイト） https://eco.pref.miyagi.jp/
実施体制	主催者：eco チャレンジみやぎ運営事務局



図 eco チャレンジみやぎウェブサイト³

■ 事例実施にあたってのポイント

ポイントキャンペーンとの連携

- ✓ 本キャンペーンは、秋田市が実施する「あきエコどんどんプロジェクト」がベースになっています（対策メニューにうちエコ診断の受診あり）。
- ✓ 診断実施によって専用のポイントが付与されます。昨今、ポイントを貯める・活用することが一般的となってきたことから、このことが市民に受け入れられたのではないかと考えられます。

■ 実施団体について

団体の種別	地球温暖化防止活動推進センター（診断実施機関）
うちエコ診断のねらい	省エネの効果を受診者へ伝えることで省エネ・省 CO2、地球温暖化防止の理解を深めるとともに、当団体の活動を周知するきっかけとして活用しています。
うちエコ診断の今後の活用方法	家具を取扱うスウェーデン発祥の某企業と連携して、店舗でうちエコ診断を実施する予定です（2023年2月実施済み）。

1 出典：公益財団法人みやぎ・環境とくらし・ネットワーク facebook <https://www.facebook.com/melon.miyagi/>

2 出典：カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション <https://uccn2050.jp/>

3 出典：eco チャレンジみやぎ <https://eco.pref.miyagi.jp/>

自治体職員と連携した市民への普及啓発

実施団体：公益財団法人 淡海環境保全財団

■ 事例紹介

名称	省エネ・節電行動実践促進事業
概要	市町や団体等と連携し、イベント活用会場等での「省エネ・節電提案会」や「うちエコ診断」を通じて、家庭における省エネ・節電行動の啓発促進を図ります。
実施体制	滋賀県地球温暖化防止活動推進センターが、県のうちエコ診断実施機関として認定を受けており、18名の診断士が登録しています。 発注元：滋賀県、運営：滋賀県地球温暖化防止活動推進センター 協力先：県内市町、滋賀県地球温暖化防止活動推進員



図 イベントの様子

■ 事例実施にあたってのポイント

まずは自治体職員が体験

- ✓ 事業の円滑な実施のため、推進員の地域グループ活動の一環で市町の職員が参加する会議を開催しており、そのような場で市町の職員にうちエコ診断の受診を呼びかけています。
- ✓ うちエコ診断にエコアクションポイントを付与する自治体なども出てきています。

■ 実施団体について

団体の種別	地球温暖防止活動推進センター（診断実施機関）
うちエコ診断のねらい	・省エネ対策の見える化事業として位置付けており、具体的な行動変容につなげています。 ・自治体環境基本計画の中の家庭の実践行動に結び付けて診断を行っています。特に自治体職員に率先して受診してもらうことで、職員自ら市民への受診をよびかけて普及拡大につなげています。
うちエコ診断の今後の活用方法	環境以外のイベント等で、関心の薄い層への啓発に活用したいと考えています。

従来とは異なるターゲット層へのアプローチ

実施団体：株式会社 ピーアールセンター

■ 事例紹介

名称	札幌市 夏の特別企画展
概要	気候変動による、世界の野生動物、北海道に生息する生き物への影響を知り、自分達にできることを考えるイベントです。
実施体制	主催者：札幌市環境局環境都市推進部

■ 事例実施にあたってのポイント

多様な人が集まる場の活用

- ✓ 主催者である札幌市が、イベントに活用できるコンテンツを模索していたため、うちエコ診断を提案しました。
- ✓ 従来とは異なる層にうちエコ診断を周知できたことは、大きな成果でした。
- ✓ うちエコ診断を別のテーマと連携させる際は、その関連性をしっかり説明することが、受診者との距離を縮めるために重要なポイントになると考えられます。



図 案内チラシ⁴

■ 実施団体について

団体の種別	サービス業（診断実施機関）
うちエコ診断の位置づけ	札幌市環境局と連携し、診断を通して市民の環境改善や家庭の省エネに寄与しています。なお、札幌市での取り組みを経て、他の自治体から診断実施の依頼がありました。
今後の展望	今後、ますます生活における支出が多くなっていく中で、ライフスタイルを見直し、少しでも支出を減らすことや、環境問題へ興味関心を持ってもらえるような、啓発活動を行っていきたいと考えています。

※4 出典：札幌市円山動物園 イベント情報「夏の特別企画展を開催します！」
<https://www.city.sapporo.jp/zoo/04event/r4/20220805natunotokubetuten.html>

中学生、高校生への家庭の省エネ・節電の普及啓発

実施団体：大阪府堺市

■ 事例紹介

名称	堺市出前講座 E-7 環境とおサイフにやさしい！「うちエコ診断」
概要	堺市内の大阪府立高校や堺市立中学校などに、「節約しながら、温暖化対策してみませんか？」をテーマに、日本のエネルギー事情を踏まえて家庭で簡単にできる省エネの取組と光熱費の削減効果についてお話ししています。

■ 本事例実施にあたってのポイント

学生から家庭へ

- ✓ 大阪府地球温暖化防止活動推進センターとの連携により、うちエコ診断を通して、各家庭に省エネ・節電に関するアドバイスを行っていました。
- ✓ 更なる普及啓発に資するべく、平成 28 年度から学生向けに出前講座を実施するようになりました。
- ✓ 出前講座には手軽さを前面に押し出した出前講座とするため WEB サービスを活用しています。

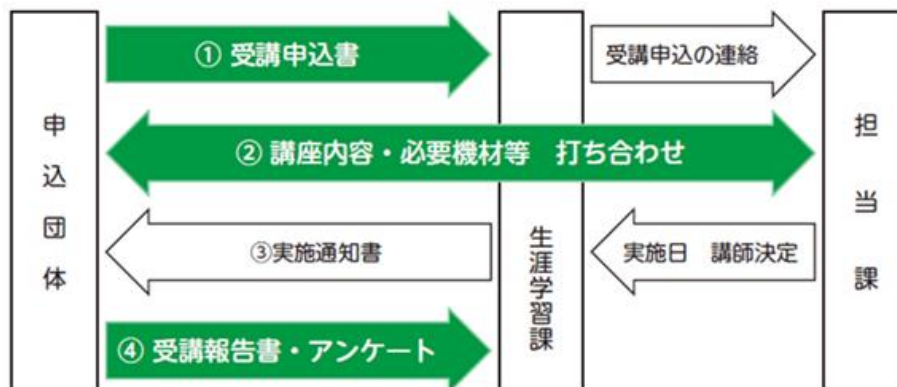


図 出前講座の流れ⁵

■ 実施団体について

団体の種別	自治体
うちエコ診断のねらい	堺市で行う出前講座において、家庭での省エネに関する取り組み事例を紹介するためにうちエコ診断を活用しています。
今後の活用方法	堺市出前講座等によるうちエコ診断の紹介を想定しています

5 出典：堺市 どこでもセミナー 堺市生涯学習まちづくり出前講座 令和4年度出前講座パンフレット

<https://www.city.sakai.lg.jp/kosodate/shogai/demaekoza/index.html>

組合員家庭における省エネルギー化の推進

実施団体：パルシステム生活協同組合連合会

■ 事例紹介

名称	STOP 地球温暖化みんなで CO ₂ 1000t 削減にチャレンジ！ ～うちエコ診断 WEB 受診キャンペーン～
概要	パルシステム組合員（利用者）を対象に、うちエコ診断 WEB サービスの認知度向上と CO ₂ 削減を目指すキャンペーンです。応募者全員に産直産地のお米「エコ・秋田あきたこまち（無洗米）450g（3合）」の特典を設け応募を呼びかけました。 その結果、応募総数 2,799 名、年間 CO ₂ 削減量約 2,815t-CO ₂ 、1 世帯あたりの年間削減量平均約 1t-CO ₂ となりました。 （事例に関するウェブサイト） https://information.pal-system.co.jp/topics/220516-uchieco/ https://information.pal-system.co.jp/topics/220722-uchieco/

約700世帯分のCO₂を削減！「うちエコ診断でCO₂1000t削減にチャレンジ」結果発表 2022年7月22日

パルシステムでは、地球温暖化防止に向けて組合員家庭における省エネ行動を広げる取り組みの一つとして、2022年5月16日（月）～6月24日（金）に、家庭でできる省エネ対策・CO₂の削減効果を知ることができるキャンペーンを実施しました。



うちエコ診断WEBサービス画面

■ 取り組み結果

応募総数 2,799名

取り組みによる年間CO₂削減量 約2,815t

応募組合員の1世帯あたりの年間削減量の平均 約1t

年間を通じた省エネ対策を2,799名の皆さんが取り組むことで約700世帯分のCO₂削減につながるようになります。一人ひとりの省エネ取り組みが増えることで大きな削減になることが改めてわかりました。

※日本の1世帯が1年間に排出するCO₂は約3.97t（全国地球温暖化防止活動推進センターより）として算出

図 事例に関するウェブサイト⁶

■ 本事例実施にあたってのポイント

環境保全・資源循環型社会への貢献

- ✓ 本キャンペーンは省エネ対策に留まらず、産地の豊かな自然、生産者の暮らしを守る「米余り」にも対応し、持続可能な社会の実現につなげています。
- ✓ パルシステムグループでは、環境保全・資源循環型社会を目指した取り組みとして温暖化防止活動を推進しています。その一環で実施するうちエコ診断は、組合員家庭の省エネ化に大きく貢献しています。

**パルシステムグループ
環境・エネルギー政策 2030 アクション**

2023年3月31日制定

本文書は、「環境・エネルギー政策」を基に、2030年までの目指すべき目標や具体的なアクション内容について定めます。地球環境を取り巻く状況が著しく変化する中で、3年をめぐりに内容の見直しを行っていきます。

温室効果ガス削減アクション

目標 2050年に温室効果ガス削減目標を実質ゼロ(カーボンニュートラル)に向けて、施設・車両合算による温室効果ガス排出量※を2030年度に2013年度比で46%削減し、排出量【22,298t-CO₂】以下にします。「自らが使う電気相当量の再生可能エネルギーを創り、利用する」ことを基本の考えとし、2030年までに「温室効果ガス排出ゼロ」の施設および、配送モデル構築を目指します。※施設・車両合算

「減らす・止める・切り替える」アクション

目標1 事業で使うエネルギーは、効率化と最適化によりエネルギー消費を一層減らします。また、組合員家庭における省エネルギー化の推進を強化します。
●うちエコ診断士を活用した学習会の開催、うちエコ診断サービスWEB受診の促進、組合員家庭におけるCO₂削減量

目標2 脱原子力発電、持続可能なエネルギー政策を求める運動については、再稼働や次世代型原発の知見を深めながら、二度とおなじ過ちを繰り返さないために反対の意思を示していきます。組合員や多くの活動団体と連携し、社会的な広がりとなるよう、参加しやすく、共感が広がる活動に再構築します。

目標3 パルシステム電力の持続的な経営への転換を実現し、事業所と組合員家庭への再生可能エネルギーの普及に取り組みます。
●再生可能エネルギー使用率〇%、パルシステムでんき組合員数〇名

図 パルシステムグループ 環境への取組 気候危機と脱炭素(抜粋)⁷

■ 実施団体について

団体の種別	協同組合(診断実施機関)
うちエコ診断の位置づけ	パルシステムグループは2030年に向けて「環境・エネルギー政策」を改定しました。引き続き、組合員家庭の省エネルギー化を推進するためうちエコ診断を活用しています。
今後の活用方法	まずは「知ること・意識すること」で省エネが暮らしに浸透し、限りあるエネルギーを大切に使用できるよう、省エネに取り組む家庭を広げていきたいと考えています。

6 出典：約700世帯分のCO₂を削減！「うちエコ診断でCO₂1000t削減にチャレンジ」結果発表
<https://information.pal-system.co.jp/topics/220722-uchieco/>

7 出典：パルシステム生活協同組合連合会 環境への取組
https://www.pal.or.jp/csr/environment/global-warming.html?via=orjp_environment

(参考) うちエコ診断活用事例調査について

本誌を作成するために、うちエコ診断実施機関を対象とした「うちエコ診断活用事例調査」を実施しました。ご協力いただいた、うちエコ診断実施機関およびうちエコ診断 WEB サービス利用団体の皆様に御礼を申し上げます。以下に本調査の結果を紹介します。

1. 調査概要

調査名称：うちエコ診断活用事例調査

調査対象：うちエコ診断実施機関（71 団体）

うちエコ診断 WEB サービス利用団体（26 団体）

調査項目：・ 団体について

・ 2021 年 4 月以降に実施したイベントについて

・ 2021 年 4 月以降に実施したキャンペーンについて

・ 自社の業務およびサービスとの関連について（営利団体のみ）

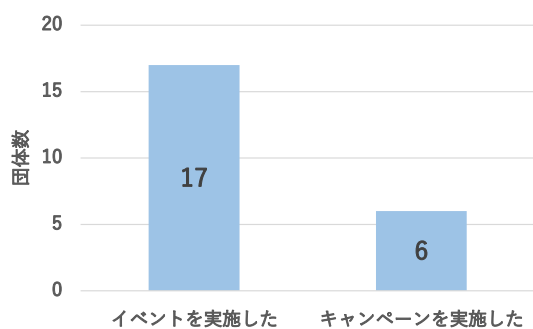
・ うちエコ診断の効果および今後の展望について

回答数：うちエコ診断実施機関（29 団体）

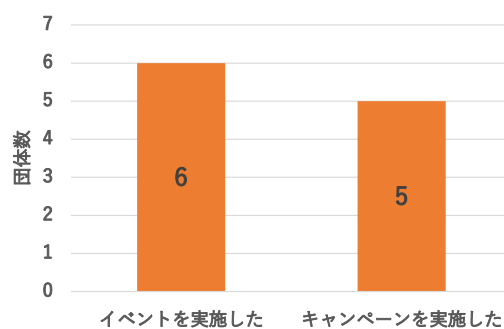
うちエコ診断 WEB サービス利用団体（12 団体）

2. 調査結果

① イベントおよびキャンペーンを実施した団体

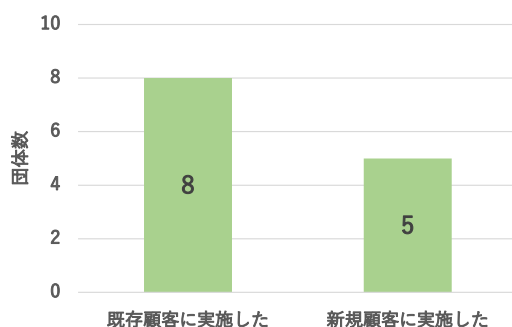


うちエコ診断実施機関



うちエコ診断 WEB サービス利用団体

② うちエコ診断をきっかけに自社の業務・サービスなどの提案を行ったことがある団体



うちエコ診断活用事例集

発行 2023年3月

問合せ先 家庭エコ診断制度運営事務局

(一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット)

〒102-0074

東京都千代田区九段南 3-9-12 九段ニッカナビル7階

TEL 03-6273-7785 FAX 03-3263-1010

URL <https://www.uchieco-shindan.jp>